



知名の子表彰

学芸・体育などの各分野で活躍した小中高生などを表彰する第2回知名の子表彰が、3月2日、あしびの郷・ちなでありました。今回は、皆勤賞7名、善行賞9名、学芸賞14名、体育賞10名と1団体、読書賞2名、友情賞4名の計46名と1団体が表彰されました。



島唄・島ムニ大会

失われつつある島唄や島ムニを永く後世に伝えるために開催している第17回島唄・島ムニ大会が、3月2日、あしびの郷・ちなでありました。町内の小中学生や老人クラブなどの皆さんが、島唄や踊りを披露したほか、童話を方言で言い換えた寸劇なども披露されました。



自衛隊入隊予定者を激励

自衛隊入隊者壮行激励会が、3月5日、商工会館であり、平安町長や自衛隊鹿児島地方協力本部の栗之丸2等陸佐が激励の言葉を述べたあと、入隊予定者がそれぞれ抱負を述べました。今年は、航空自衛隊に2名、陸上自衛隊に2名の計4名が入隊予定者となりました。



ファンゲル塾の館が完成

瀬利覚字の伝統芸能である「ジッキョヌ獅子舞」の伝承のため、獅子舞を補完・補修する施設が完成し、3月21日に竣工式が行われました。過疎集落等自立再生緊急対策事業を活用したもので、今後は集落活性化の場として、さまざまな活動で利用されます。



130名分のワクチンを届けました

知名町青年連絡協議会(宗村好信会長、以下青年団)が行っているペットボトルのキャップとプルタブの収集活動に対し、2月28日に瀬利覚字老人クラブの福寿会(平山輝夫会長)から、3月20日には沖永良部高校生徒会(福永真之介会長)からそれぞれエコキャップとプルタブの寄贈がありました。これら



は、発展途上国の子供たちのワクチンの費用などに充てられますが、両団体の代表者は「福祉の向上のために活用してください」と述べていました。これまで青年団が収集したキャップの累計は115,111個(ワクチン約130名分)で、プルタブは約150kgとなっています。